

プラズマ・核融合学会誌

第95巻第4号

2019年4月

プロジェクトレビュー	特異値分解固有モードを利用した磁場設計 (核融合装置技術から応用した磁場設計)	阿部 充志	155
解 説	低侵襲プラズマ止血機器の安全性に関する国際標準とその意義	榎田 創, 池原 譲	173
講 座	プロセスプラズマにおけるプラズマ計測の基礎		
	4. プラズマプロセスにおける吸収分光計測の基礎	竹田 圭吾, 高島 成剛, 堀 勝	180
	5. おわりに	赤塚 洋	187
Plasma and Fusion Research 掲載論文アブストラクト			189
インフォメーション			190
	幅広いアプローチ活動だより(78)		
	【人事公募】		
Plasma & Fusion Calendar			194
本 会 記 事			196
	専門委員会応募に対する採択の結果/学会賞候補者の募集について/第36回プラズマ・核融合学会年会シンポジウム・招待講演の募集		
編 集 後 記			

表紙の絵

Am-Be 中性子線源を用いたフッ化物溶融塩 FLiNaBe (LiF-NaF-BeF₂) に対する中性子照射およびトリチウム回収実験体系の概略図。フッ化物溶融塩は核融合炉ブランケットシステムにおけるトリチウム燃料増殖材, 兼, 冷却材候補の一つである。Am-Be 中性子線源を用いることでフッ化物溶融塩に対する安定した長期間の照射実験を可能にした。長い時定数をもつ溶融塩 FLiNaBe からのトリチウム放出挙動を, その放出率が定常状態に至るまで測定することに成功した。(Kohki KUMAGAI *et al.*, Plasma and Fusion Research, Vol. 14, 1405044 (2019) <http://www.jspf.or.jp/>)

【複写をされる方へ】本学会は, 本誌掲載著作物の複写に関する権利を一般社団法人学術著作権協会に委託しています。本誌に掲載された著作物の複写をご希望の方は, (社)学術著作権協会より許諾を受けてください。但し, 企業等法人による社内利用目的複写については, 当該企業等法人が公益社団法人日本複写権センター (社)学術著作権協会が社内利用目的複写に関する権利を再委託している団体) と包括複写許諾契約を締結している場合にあっては, その必要はありません (社外頒布用の複写については許諾が必要です)。

権利委託先: 一般社団法人学術著作権協会 〒107-0052東京都港区赤坂9-6-41乃木坂ビル 2F Tel:(03)3475-5618 E-mail: info@jaacc.jp

複写以外の許諾 (著作物の引用, 転載, 翻訳等) に関しては, (社)学術著作権協会に委託しておりません。直接当学会へお問い合わせください。